

東京都外来医療計画 骨子(案) <<項目>>

参考資料3

項目案
第1部 国が求める記載事項
第1章 外来医療計画とは
1 策定経緯
2 計画の構成(記載事項)
3 策定プロセス
4 東京都保健医療計画との整合と計画期間
第2章 東京の外来医療
1 東京の特性
2 東京の外来医療の状況
3 外来医師偏在指標と外来医師多数区域の設定
4 医療機器の共同利用
第3章 二次保健医療圏ごとの状況(13医療圏同様の構成)
1 人口・高齢化率の推移
2 外来医療資源の状況
3 外来医療機能別の状況
(1) 夜間・休日における初期救急医療
(2) 在宅医療
(3) その他の医療機能
4 医療機器の状況
(1) 医療機器の配備状況
(2) 医療機器の共同利用方針
第4章 協議の場の設置と運営
1 診療所の新規開業手続
2 医療機器購入時の共同利用の手続
3 協議の場(地域医療構想調整会議)における協議
(1) 外来診療所に関する手続
(2) 医療機器の共同利用に関する手続

項目案
第2部 都としての方向性
第1章 「東京の将来の医療～グランドデザイン～」に基づく外来医療の方向性
1 将来の外来医療の姿
2 4つの基本目標
(1) 高度医療・先進的な医療提供体制の将来に渡る進展
ア 外来における高度医療機能の充実
イ 外来医療機能に関する情報提供の推進
ウ 診療所と特定機能病院等の連携強化
エ 外来医療従事者のキャリアアップ支援
(2) 東京の特性を生かした切れ目のない医療連携システムの構築
ア 初期救急医療の機能の充実
イ 病院・診療所の連携強化
ウ 在宅移行支援の充実
エ 診療所含む災害時医療体制の強化
(3) 地域包括ケアシステムにおける、治し、支える医療の充実
ア かかりつけ医等によるプライマリケアによる早期診断、早期治療
イ 外来における認知症医療の充実
ウ 在宅療養生活の支援
エ 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう医療・介護サービス基盤の充実
オ 看取りまでの支援
(4) 安心して暮らせる東京を築く人材の確保・育成
ア 地域医療を担う総合診療医の確保・育成
イ 在宅療養を支える診療所医師等の人材確保・育成
ウ 地域の健康づくりを支える公衆衛生医の確保
第2章 計画の推進主体の役割
1 行政
2 医療提供施設
3 保険者
4 都民